

---

# 僕と彼女

さくらいろは

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

僕と彼女

### 【Nコード】

N5847A

### 【作者名】

さくら いろは

### 【あらすじ】

ありそうでなかなかない落ち着きのある僕と彼女の関係。遠そう  
で近いお互いの存在。物語というよりは、語りです。

—— 静かに涙を流す君に

何もしてあげられなかった。——

「それでね、その子が言うのね。」

彼女は足を止める。こっちに振り向いて、声色を変えて続ける。

「『彼、頼りないのよ。いつも私が救ってあげてるんだから！』って。」

彼女は首をすくめて笑い、また歩きはじめる。

「へっ…救いあいが大切って言うけど、やっぱり差は大きいのかな。」

僕も歩き出して、そう答える。

そばに流れる川を見つめながら、彼女は少し考え込む。

——僕も 救われてばかりなんだ

僕は 救えなかったのに——

僕の小さな心は時々

罪悪感で満ち溢れる。

あの日、彼女の飼ってた猫が死んだ。

物に当たるでもなく、僕に泣き付くでもなく、彼女は静かに涙を流していたから…

守りたかった。救いたかった。でも、できなかった。

『救う』なんて言葉

口にするのは簡単だけど

行動に移すには難しすぎて…

きつと僕にできることなんて何もなかったんだ。

そう、彼女の隣に、ただただ立ち尽くしているだけだった。

もしかしたら彼女の隣にいる資格なんて、もうないのかもしれないな。

「駄目！」

彼女が急に大きな声を出した。

ドキツとして振り向くと、彼女は川を見下ろしている。

「猫が川に入りそう…おぼれちゃう…」

そう言って心配そうに猫を見ている。

「あ！離れた！」

すぐに顔が晴れてゆく。

「よかったあ…」

よかった…僕が考えてることに気付いて駄目だ、って言われたのか  
と思った…  
よかった…

僕は、ホッと胸をなでおろす。

「さっきの話ね…」

急に彼女が口を開く。  
歩き出して、続ける。

「救うのと救われるの、確かに差が大きいかもしれない。」

僕は何も言わなかった。

僕は彼女に先をうながすと、彼女は少しうつ向き加減になって、言

う。

「私…あなたに救われてばかりだから…」

……え？

わけが分からなくて反応が一瞬遅れる。

「逆だよ！僕が救われてばかりなのに…僕が君を救えたことなんてないよ。」

どうして？、と彼女が首をかしげる。

「だって…！」

そこで僕は話をやめる。

死んだ猫のことを思い出させたら、僕はまた救えない…。

「私の猫が死んだ時のこと、覚えてる？」

彼女は僕の心が読めるのではないか。

そう思った。

「お…覚えてるよ。」

慎重に答える。

「あの時、私が一方的に救われちゃったよね。」

「違うよ、僕が…！」

言いかけてやめる。  
他のことが気になった。

「僕は一体…どうやって君を救ったの？」

彼女は真剣に尋ねる僕の様子がどうやらおもしろかったらしく、クスクスと笑って答える。

「そばにいてくれたじゃない。」

とても綺麗に微笑んで。

「そばにいることしか…できなかったんだ。救いたかったけど…何もできなかったから…」

正直に想いを打ち明ける。

すると彼女は言った。

「あの時どうして私が落ち着いてたのかって言うかね、あなたがそばにいてくれたからなのよ。悲しかった。すごく哀しかった。でも不思議と寂しくはなかったの。」

あ、心が少し軽くなった。

ほら…また救われた。

でも不思議と、前のように罪悪感があふれることはなかった。

『彼女の言葉で僕は救われた』

それだけで彼女はきっと救われる。

『僕が存在が君を救った』

それだけで僕は必ず救われる。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5847a/>

---

僕と彼女

2010年12月26日18時13分発行